



調査報告書

光回線利用実態調査【北海道編】 ～在住者1,000人に聞いた利用状況と課題～

調査実施：株式会社ALL CONNECT / オールコネクトマガジン編集部

発行日：2026年2月24日

調査概要

調査目的	北海道在住者のインターネット回線利用実態を把握し、光回線の利用状況・満足度・乗り換え意向・北海道特有の課題（冬季不安定など）を明らかにする。
調査方法	インターネット調査（QiQUMO）
調査時期	2026年1月
調査対象	北海道在住者（15歳以上の男女）
有効回答数	1,000件（スクリーニング・トラップ除外後）
エリア分布	道北113名（11.3%）、道央624名（62.4%）、道東136名（13.6%）、道南127名（12.7%）
調査実施機関	株式会社ALL CONNECT / オールコネクトマガジン編集部
協力	北海道電力株式会社 バリューマーケティング部

調査結果サマリー

- ・ 北海道在住者の60%が光回線を利用。ドコモ光（23.5%）とauひかり（23.0%）が2強で、合計46.5%のシェアを占める。
- ・ 光回線を選んだきっかけは「店舗（家電量販店など）」が37.3%でトップ。Web（24.2%）・引越し（21.7%）が続く。
- ・ 約21%が「よく分からないまま契約した」と回答。料金の把握不足も21%に上り、契約内容の透明性に課題がある。
- ・ 北海道特有の課題として「冬季（雪・悪天候）に通信が不安定」（12.5%）が浮上。全エリアで雪・冬季への要望が共通。
- ・ 約33%が光回線の乗り換えを検討中。乗り換え時に最も重視するのは「料金の安さ」（75.3%）。

調査結果詳細

利用しているインターネット回線 (n=1,000)

全体

回線種別	回答数	割合
光回線	600	60.0%
ホームルーター	182	18.2%
モバイルWi-Fi	132	13.2%
その他 (CATV等)	86	8.6%

光回線が60%で最多。ホームルーター (18.2%) ・モバイルWi-Fi (13.2%) を合わせると31%が非固定回線を利用しており、固定回線への潜在需要が存在する。

エリア別

エリア	n	光回線	ホームルーター	モバイルWi-Fi	その他
道北	113	73 (64.6%)	20 (17.7%)	10 (8.8%)	10 (8.8%)
道央	624	378 (60.6%)	115 (18.4%)	78 (12.5%)	53 (8.5%)
道東	136	77 (56.6%)	21 (15.4%)	26 (19.1%)	12 (8.8%)
道南	127	72 (56.7%)	26 (20.5%)	18 (14.2%)	11 (8.7%)

道北の光回線利用率が64.6%と最も高い。道東はモバイルWi-Fi利用が19.1%と他エリアより高く、エリア差が見られる。

利用中の光回線事業者 (n=600・光回線利用者)

全体

事業者	回答数	割合
ドコモ光	141	23.5%
auひかり	138	23.0%
ソフトバンク光	88	14.7%
フレッツ光	80	13.3%
その他	66	11.0%
分からない	65	10.8%
NURO光	12	2.0%
電力系 (北海道電力など)	10	1.7%

ドコモ光 (23.5%) とauひかり (23.0%) が拮抗。合計46.5%で大手2社が約半数を占める。道北ではauひかり (31.5%) がドコモ光 (28.8%) を上回るなど、エリアによって差がある。

エリア別シェア (主要事業者)

事業者	道北 (n=73)	道央 (n=378)	道東 (n=77)	道南 (n=72)
ドコモ光	28.8%	23.0%	26.0%	18.1%
auひかり	31.5%	21.7%	19.5%	25.0%
ソフトバンク光	8.2%	16.4%	13.0%	13.9%
フレッツ光	6.8%	13.2%	15.6%	18.1%
NURO光	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%

インターネット回線とセットで契約しているサービス (MA・n=600)

セット契約サービス	回答数	割合
スマホ・携帯	338	56.3%
固定電話	234	39.0%
電気	72	12.0%
テレビ	66	11.0%
ガス	17	2.8%

スマホ・携帯とのセットが56.3%で最多。電気（12.0%）・ガス（2.8%）とのセットはまだ少なく、通信事業者との組み合わせが主流となっている。

光回線を契約したきっかけ (MA・n=600)

全体

きっかけ	回答数	割合
店舗（家電量販店など）	224	37.3%
Web（比較サイト・広告など）	145	24.2%
引っ越し時にまとめて契約	130	21.7%
電話営業	40	6.7%
訪問営業	30	5.0%
その他	56	9.3%

店舗経由が37.3%でトップ。Web経由（24.2%）と引越し時（21.7%）が続ぎ、対面・オンライン・ライフイベントの3チャンネルが主要な契約経路。

契約時の理解度 (n=600・光回線利用者)

理解度	回答数	割合
内容を十分理解して契約した	359	59.8%
一部不明点があった	116	19.3%
よく分からないまま契約した	125	20.8%

約21%が「よく分からないまま契約した」と回答。全エリアで共通した課題であり、契約内容の分かりやすい説明へのニーズが高い。

現在の契約についての感想 (n=600・光回線利用者)

感想	回答数	割合
契約して良かった	323	53.8%
どちらとも言えない	258	43.0%
後悔している	19	3.2%

「良かった」53.8%に対し「どちらとも言えない」が43.0%と拮抗。積極的な満足を感じていない層が約半数おり、サービス改善余地がある。

現在の実質月額料金 (n=600・光回線利用者)

料金帯	回答数	割合
4,000円未満	82	13.7%
4,000～4,999円	127	21.2%
5,000～5,999円	158	26.3%
6,000円以上	107	17.8%
わからない	126	21.0%

5,000～5,999円が最多（26.3%）。「わからない」が21%と約2割が自身の月額を把握できていない状況。Web上でのマイページ確認習慣の定着が課題。

料金に対する満足度 (n=600・光回線利用者)

全体

満足度	回答数	割合
満足	104	17.3%
やや満足	240	40.0%
やや不満	184	30.7%
不満	72	12.0%

満足計57.3%、不満計42.7%とほぼ二分。約43%が料金に不満を感じており、価格への関心が高い。

エリア別（満足計・不満計）

エリア	n	満足計	不満計
道北	73	56.2%	43.8%
道央	378	58.2%	41.8%
道東	77	55.8%	44.2%
道南	72	55.6%	44.4%

通信品質について不満を感じる点 (MA・n=600)

不満点	回答数	割合
特に不満はない	437	72.8%
夜間に速度が遅い	77	12.8%
冬季（雪・悪天候）に不安定	75	12.5%
動画・オンライン会議が不安定	55	9.2%

72.8%は特に不満なし。一方「冬季（雪・悪天候）に不安定」（12.5%）は北海道特有の課題として浮上。在宅勤務の増加や冬季の同時利用増加が要因の一つと考えられる。

北海道で光回線を使う上で困ったこと (MA・n=600)

困ったこと	回答数	割合
特に困ったことはない	500	83.3%
開通工事までの期間が長かった	41	6.8%
サポート対応が悪い	40	6.7%
冬季の工事・復旧が遅い	21	3.5%
対応エリア外だった	20	3.3%

83.3%が「困ったことなし」と回答。「冬季の工事・復旧が遅い」は北海道特有の課題で、積雪地域ならではの対応が求められる。

光回線の乗り換え検討 (n=600・光回線利用者)

全体

検討状況	回答数	割合
検討している	46	7.7%
いずれ検討したい	152	25.3%
検討していない	402	67.0%

乗り換え意向あり（検討中+いずれ）は33.0%と約3割。道東エリアが37.7%と最も高い。

エリア別（乗り換え意向あり）

エリア	n	乗り換え意向あり	検討していない
道北	73	22 (30.1%)	51 (69.9%)
道央	378	128 (33.9%)	250 (66.1%)
道東	77	29 (37.7%)	48 (62.3%)
道南	72	19 (26.4%)	53 (73.6%)

乗り換える場合に重視するポイント（MA・n=198・乗り換え意向者）

重視ポイント	回答数	割合
料金が安い	149	75.3%
通信速度が速い	107	54.0%
手続きが簡単	86	43.4%
特典や商品がわかりやすい	50	25.3%
ネームバリュー	19	9.6%

「料金が安い」が75.3%と断トツ。「通信速度が速い」（54.0%）・「手続きが簡単」（43.4%）が続く。シンプルで分かりやすい契約手続きが乗り換えハードルを下げる鍵。

乗り換えをためらう理由（MA・n=307・乗り換え意向者）

理由	回答数	割合
手続きが面倒	160	52.1%
工事が面倒	90	29.3%
違約金が不安	80	26.1%
情報が分かりにくい	70	22.8%
現状で困っていない	61	19.9%

「手続きが面倒」が52.1%で最大のためらい要因。「工事が面倒」・「違約金が不安」も約3割が挙げており、手続き・コストの簡素化が乗り換え促進に直結する。

調査方法の詳細

調査ツール・実施方法

QiQUMOを使用したインターネット調査。北海道在住者をモニターパネルから募集した。

スクリーニング条件

北海道在住の15歳以上の男女。

除外条件

トラップ設問（注意確認問題）に誤答した回答者を除外。有効回答数1,000件はトラップ除外後の数。

回答者属性

属性	区分	回答数	割合
エリア	道北	113	11.3%
エリア	道央	624	62.4%
エリア	道東	136	13.6%
エリア	道南	127	12.7%
年代	15歳以上	23	2.3%
年代	20代	160	16.0%
年代	30代	208	20.8%
年代	40代	206	20.6%
年代	50代	179	17.9%
年代	60代	149	14.9%
年代	70歳以上	75	7.5%
住居形態	戸建て	498	49.8%
住居形態	集合住宅（賃貸）	392	39.2%
住居形態	集合住宅（分譲）	110	11.0%

道央エリアが62.4%と過半数を占める。年代は30代（20.8%）・40代（20.6%）が多く、住居形態は戸建て（49.8%）がほぼ半数。

データの利用条件・引用ガイドライン

出典表記

本データを引用・転載する際は、以下の出典を明記してください。

出典記載例（個別調査を引用する場合）

出典：オールコネクトマガジン「光回線利用実態調査【北海道編】」（<https://all-connect.co.jp/magazine/survey-ontheactual-useof-opticalfiber-linesin-hokkaido/>）

各カードの「記事を読む」リンク先が出典URLです。データライブラリ全体を参照する場合は <https://all-connect.co.jp/magazine/data/> をご利用ください。

利用可能な範囲

- ・ 記事・レポート・プレゼン・SNS等での引用・転載（出典明記のうえ事前連絡不要）
- ・ グラフ作成・独自分析・再集計などの二次利用（出典明記のうえ可）
- ・ 商用目的での利用（出典明記のうえ可）

禁止事項

- ・ 元データの改ざん・調査結果を誤認させる文脈での使用
- ・ CSVやPDFファイルの再ホスティング・再配布

お問い合わせ

データの詳細・調査に関するご質問は [お問い合わせフォーム](#) よりご連絡ください。